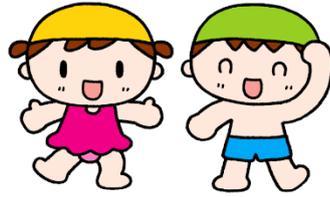


2021年 7月
あさかぜ保育園子育て支援だより 7月



いよいよ7月。暑い夏がやって来ました。今年も猛暑の予感がします。5月15日の梅雨入りから、雨より晴天の日が多いと思いませんか。晴天と言っても6月前半は特に、真夏日が続き戸外で遊ぶのも木陰を探していました。しかし、子どもたちは汗びしょりになりながら色水あそびや虫とりを楽しんでいました。室内と戸外との温度差と水分補給に気を付けながら保育園生活を送っています。

7月1日には、プール開きを行い全員でプールでの約束の確認・安全祈願をしましたよ。猛暑ですとプールも制限されます。子どもたちが楽しみにしている大好きなプール遊びが毎日できることを願っています。

また、7月はオリンピック開催の月です。コロナが世界的大流行の中、日本で開かれます。オリンピックが開催されると分かった8年前、日本中が喜びに溢れていました。まさか、このようなコロナと言う疫病が世界的に大流行すると誰が予想したでしょう。もし、開催されるならば感染拡大が無く、無事に最後の閉会式が迎えられることを祈っています。

保育園もコロナの影に怯えながら、感染予防対策を細心の注意を払って保育を行っています。引き続き保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

前置きが長くなりました。書きたいことが沢山あり、盛りだくさんになりました。つい、オリンピックの話を出したのも日本で開催される夏のオリンピックは2回目だそうです。1回目は1964年10月。もし、もし、今年開催されたならば、私は2回ともテレビ観戦ができるのです。(すごいでしょ!) 歳を重ねたと我ながら感慨深いものがあります。

周りの方たちに助けられ、やっとこの歳まで来たように思います。感謝の思いでいっぱいです。

そのような中、ある本の中に「これまで人として、どう生き・どのようにふるまい、どんな気持ちで日々を送ってきたのか・・・。」という一文を読みました。歳を重ねたと感じる今、この本に触発され、今までの人生を振り返ってみたくなりました。私、波乱万丈とまでは言いませんが山あり谷ありの生き方をしてきたように思います。思いだそうと硬くなった私の頭の引きだしを久しぶりに開けてみました。埃をかぶった引きだしの中をそっと覗いてみると「人として、どう生きるか・・・。」なんて考えてないのでは・・・と思えるほどです。毎日を必死になって過ごしてきたように思います。

独身時代は、それなりに楽しみました。 保育士としての仕事は楽しく一生

懸命です。子どもたちと一緒に山に登り、川へしじみをとりに行き、そこでお弁当を食べます。また、他の園にも行き交流をするなど、ゆったりとした時間の中、毎日をワクワクと保育していたような気がします。(今、思えば危機管理が甘かったと反省しています)

子育て期は、必死だったような気がします。仕事と子育て・家事に毎日追われ、髪を振り乱し子どもには「はやくしなさい!」の連発。(あ~なんて母親)

しかし、一旦職場に入ると保育士の顔になります。そして、保護者の皆様へ保育論を述べている。今思えば、まるで二重人格者のようでした。

ただ、祖父母・私の周りの方達の支援がなかったら、きっと子育てと仕事の両立は無理だったかもしれません。私、「しんどい」時は「しんどい!」と言って素直に周りの方達にSOSを訴えても良いと思います。その方が、きっと子どもにとっても、私自身にも精神衛生上良かったように思います。

そして、子育てが終わった今です。振り返りの時間を持つことが出来るようになりました。これまで、周りの方達に助けられながら現在に至ったわけですが、その根底に流れていたものは子ども時代に学んだ事ではないかと思うのです。(家庭・保育園・幼稚園時代の遊びを通して)

<私の60数年前の原体験です>

小さい頃、大きい子に連れられ山に入りスカンポ(イタドリ)を採りにいきました。私の採った数はしれています。でも、皆が採った物を出し大きい子が平等に分けてくれました。(かなり田舎?笑)

これは、小さい頃の原体験のほんの1例です。色々な原体験には、以下のような意味があるんですよ。

- ①何でもみんなで分け合うこと! するをしないこと!
- ②人をぶたないこと! 使った物はかならずもとのところに戻すこと!
- ③ちらかしたら自分で後片付けをすること!
- ④人のものに手を出さないこと!
- ⑤誰かを傷つけたら(心でも体でも)、ごめんなさい、と言うこと!

(まさに今、保育園で実践されていることなんです。)

①~⑤のことは、私が小さい頃、縦・横のつながりで遊ぶ中、上の子から教えられ周りから言われ、家庭でも言われて自然と身につけてきたように思います。この事って、大きくなって社会生活を送る中の基本ではないでしょうか・・・。今、どう生き・どのようにふるまってきたか振り返ると小さい頃の原体験が根底に流れていると思います。①~⑤の事を私は、社会で自然にふるまってきたように思います。

ただ⑤の「ごめんなさい」が大人になるにつれ、素直に言えなかったように思います。

娘（たびたび登場します 笑）いわく、「かあさんは、絶対自分が正しいと思っているから、ごめんなさいが言えないよね。」思わず、ドキッ！確かに……。心を込めて素直に「ごめんなさい」と言えるのは、子どもにとってもそうですが、大人になればなるほど難しいと思いませんか。でも「ごめんなさい」は大変、大切だと思います。いまだに、「心を込めて素直に」の気持ちを持つように心がけています。

今、保育園の子どもたちは、私が育った時代とはかなり違います。だからこそ人生の根幹となる大切な事 ①～⑥を保育園で遊ぶ中・家庭での生活の中で学んでいると思います。

子どもは、言っても言っても同じ失敗(?)をするものです。
「それ言ったでしょ！また！」と叱るのではなく、「そっか、〇〇だったんだ」といったん受け止め「Aちゃんは、どう思う？」と聞いてみてください。
そして、「かあさんは（とうさんは）、こういうことから（理由）〇〇した方がよいと思うよ」と必ず目を見ながら、また抱きしめながら伝えてみてください。

子育ては、まだまだスタートしたばかりです。気長に心に余裕を持って子育てをしていきませんか。私たちは、何よりも、子どもたちに幸せになってほしいと願っていると思います。保護者の皆様、子どもも・親も穏やかな心を持って、時々振り返りをしながら共に成長していきましょう。

今月は、ここまで……。

子育てが終わった ばあ～ばより

